

# R4年度 道徳教育全体計画

## 児童の実態

- ・仕事に責任をもち、よく働く子が多い。
- ・やさしい言葉がけや友達のことを考えた行動、時と場に応じた行動が十分とはいえない。
- ・異学年交流の機会が減ったこともあり、年下の手本となる規範意識や相手を尊重する言動に課題が見られる。
- ・自分の行動を振り返り、友達のよいところを認め、思いやりをもって友達に接する児童の育成が求められる。

## 時代や社会の要請

- 自己を見つめ、他者を思いやる心や感動する心などの豊かな心をもつことができるように、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。
- 道徳の指導内容の重点化と体験活動の推進、「考え、議論する道徳」の展開のための指導方法とカリキュラムマネジメントの工夫。

## 特別活動

- =学級活動=
- 互いを尊重し、よさを認め合えるような人間関係を築こうとする態度と自己を正しく生かす能力や態度の育成を図る。
- =児童会活動=
- みんなで話し合い、協力して解決していこうとする態度の育成を図る。
- =クラブ活動=
- 互いに協力し、支え合おうとする人間関係や自己のよさや可能性を伸ばす態度の育成を図る。
- =学校行事=
- 学校や学級への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度の育成を図る。

## 生活場面での指導

- ・朝の会や帰りの会
- ・中休みや昼休み時間
- ・給食時間や清掃時間
- ・縦割り班活動を通して、
- あいさつなどの基本的な生活習慣や礼儀などの生活上のきまり、人間としてしてはならないことをしないことを身に付けさせる。
- 教師と児童及び児童相互の人間関係を深める。

## 家庭や地域社会との連携

- 学校だよりや学級通信を定期的に発行して保護者との連携を図り、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- 家庭訪問や学級懇談、個人面談の機会を大切にして、児童の相互理解を深める。
- 道徳の授業を公開したりして道徳の指導への理解を深める。
- 家庭教育についての研修機会を設けるなど、子育てについての共通理解を深める。
- 浪岡地区小学校や中学校との情報交換や連携を図る。

## 教育目標

学びに向かい 心優しく ねばり強くがんばる子

## 努力目標

- 学び合う子
- ・相手を思いやり、協力し合う子
- ・めあてをもって、高め合う子

## 道徳教育の重点目標

- 自己の生き方についての考えを深める学習を積み重ねるとともに、全教育活動を通して、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の育成に努める。
- 道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子を継続的に評価し、学んだことを日常生活に生かせるような実践意欲と態度の育成に努める。

## 各学年の指導の重点

|     |   |
|-----|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</li> <li>・誰にでも気持ちのよい挨拶や言葉遣いをし、友達と仲よくする。</li> <li>・身近な自然に親しみ、やさしい心で動植物に接し、生命を大切にする。</li> <li>・みんなが使う物を大切にし、約束やきまりを守る。</li> </ul>           |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく考えて行動し、自分でやろうと決めたことは最後までやり遂げる。</li> <li>◎相手の立場を考え、思いやりの心をもって接し、助け合って行動する。</li> <li>・自然や動植物に親しみ、生命の尊さを感じ取り、生命を大切にする。</li> <li>・働くことの大切さを知り、みんなで協力して仕事をなし遂げる</li> </ul> |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実に明るい心で生活し、自分なりのよさを生かして行動する。</li> <li>・時と場を考えて礼儀正しくし、思いやりの心をもって協力する。</li> <li>・自然環境を大切にし、自他の生命を大切に</li> </ul> <p>◎誰にでも公正、公平に接し、役割を自覚し、主体的に行動する</p>                     |

## 特別の教科 道徳の指導

- 児童が、ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かに感じ、生き生きと表現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育むような時間を旨とする。
- ・問題解決的な学習やICTを取り入れた学習の工夫
- ・道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫
- ・自己の言動や日常生活と関連付けた振り返りの工夫
- ・行事や各教科と結び付けるカリキュラムの工夫

## 体験的活動

- 勤労生産・奉仕的活動
  - ・一人一鉢運動(全学年)
  - ・りんご作り、大豆作り、米作り体験学習(総合的な学習の時間)
  - ・のぞわ菜園(生活科・総合的な学習の時間)
- 遠足・集団宿泊的行事
  - ・宿泊体験学習(5年) 修学旅行(6年)
  - ・全校遠足(縦割り班活動)
- 学芸的行事
  - ・浪岡野沢小・野沢公民館祭(全学年)
  - ・地区音楽会、芸術鑑賞教室(全学年)
- その他
  - ・校外学習(全学年)
  - ・縦割り活動(なかよし班活動など)
  - ・吉野田獅子踊伝承活動(3～6年)

## 教師の願い

- ・自分の意志を進んで表現できる子ども
- ・思いやりをもって他人のよさを認めることができる子ども
- ・仲間意識をもち、時と場に応じて自分の行動を正すことができる子ども。

## 地域や保護者の願い

- ・思いやりのある子ども
- ・あいさつや返事、言葉遣いがしっかりできる子ども
- ・積極性があり、自分に自信をもって行動できる子ども。
- ・協調性があり、豊かな人間性をもった子ども。
- ・明るくほがらかで、互いに認め合える子ども

## キャリア教育

- 他者との関わりを通して他者の大切さに気づき、積極的に働きかける。
- 自分らしさに気づき、将来の夢や希望をもち、実現を目指して自ら努力できる。
- 集団や社会の中で様々な役割があることやその大切さがわかる。

## 各教科

- =国語科=
- 表現力、理解力、言葉で伝えあう力を高める。
- =社会科=
- 地域の社会生活や先人の働きについての理解を図る。
- =算数科=
- 見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。
- =理科=
- 自然を愛する心情や科学的な見方や考え方を養う。
- =生活科=
- 自然に親しみ、生命を大切にすることや、きまりや言葉遣いなどを身に付ける。
- =音楽科=
- 楽しさや喜びを感じ取る心を育てる。
- =図画工作科=
- よさや面白さ、楽しさを感じ取る心を育てる。
- =家庭科=
- 家庭生活を大切にする心情を育む。
- =体育科=
- やり遂げる、きまりを守る、集団に参加し協力する態度を養う。

## 外国語・外国語活動

- 外国語を通じて、言語や理解を深め、多様なものの見方や考え方の育成に努める。

## 総合的な学習の時間

- 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自己の生き方を考え、主体的に判断し、粘り強く考えて解決しようとする資質や能力を育てる。

## 教育環境の整備

- 豊かな心を育て、互いに認め合い支え合う学校の風土をつくり、道徳的実践への意欲を高めるのに役立つような環境づくりに努める。
  - ・校舎内の清掃
  - ・児童の作品掲示
  - ・児童の活動写真掲示
  - ・目標やきまりなどの掲示